

2014年12月20日(土) 13:00～ 於：鹿児島大学

「これからの子どものスポーツ環境を考える」

ー「自ら生い立つ」子どものための新しいムーブメントー

日本体育・スポーツ経営学会が開催する研究集会は間もなく50回の節目を迎えますが、「子どものスポーツ環境」に関わるテーマは、この間繰り返し取り上げられてきました。私たちは子どもたちのために、どんなスポーツ環境をつくっていくべきか、このことが常に問われ続けなければならないことを鑑みれば、至当のことと思われま

す。子どもの運動（身体活動）やスポーツに関わる環境は戦後60年の歴史の中で大きく変動してきました。中でも1964年の東京オリンピック開催は子どものスポーツ環境にエポックをもたらしました。すべての子どもたちが参与できるスポーツ環境の構築が目指されたことをここで再確認する必要があると考えます。そして再びオリンピック・パラリンピックの東京開催を2020年に控え、子どもたちのための「スポーツ(オリンピック)・ムーブメント」はどう描かれようとしているのでしょうか。

サブテーマの「自ら生い立つ」は青少年オリンピック・ムーブメントを背景に1962年に発足した「日本スポーツ少年団」の「理念」を起草した鹿児島ゆかりの教育学者森(山下)徳治の教育思想を象徴する言説です。今回は講師にこの日本スポーツ少年団創設に関わられた飯塚鉄雄先生をお招きし「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織づくり」の特別講演を予定しています。また、幼少時の運動プログラムの開発や子どもの運動環境についての研究の第一人者でNHK教育テレビの「からだであそぼ」、「あさだ！からだ！」の監修も務められた中村和彦先生に2回目のオリンピック・パラリンピック東京開催を控えたこの時期、子どもの運動・スポーツ環境に関わる新たなご提案をいただきます。

さらに幼少期の運動や発育発達論の立場から森司朗先生、幼児期・児童期の運動・スポーツに関する政策について元文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育科教科調査官の佐藤豊先生を迎えパネルディスカッションの形態で検討を深めてまいります。

この研究集会では「子どものスポーツ環境」を幅広く捉えるとともに、体育・スポーツ経営学の視点を携えて、上記の課題に切り込みます。皆様、どうか奮ってご参加ください。

【日 時】平成 26 年 12 月 20 日（土） 13：00～17：00

【場 所】鹿児島大学教育学部第一講義棟 101 号

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/>

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-20-6

鹿児島市市電「工学部前電停」下車

【定 員】150 名

【主 催】日本体育・スポーツ経営学会

【参加費】（資料代を含む） 2,000 円（学生 1,500 円）

【参加申し込み方法】

参加申込書を下記にお送りいただくか、メール、電話、FAX
のいずれかの方法で、①氏名、②所属、③連絡先（住所、電話番号、
メールアドレス）をお知らせください。

【お問い合わせ先】

〒891-2393 鹿屋市白水町 1 番地 鹿屋体育大学体育学部竹下研究室

TEL/FAX：0994-46-4921

E-mail：takesita@nifs-k.ac.jp

派遣依頼書をご入用の方は上記問い合わせ先までご連絡ください。

【プログラム】

12：30～ 受付開始

13：00～13：10 趣旨説明

13：10～15：00 第 1 部

特別講演「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織づくり」（仮題）

飯塚鉄雄（東京都立大学名誉教授，至学館大学名誉教授）

基調講演「子どもの運動環境についての新たな提案」（仮題）

中村和彦（山梨大学教授）

15：10～16：50 第 2 部 **パネルディスカッション**「これからの子どものスポーツ環境を考える」

森 司朗（鹿屋体育大学教授，学長補佐）

佐藤 豊（鹿屋体育大学教授，元文部科学省企画・体育課教科調査官）

中村和彦（山梨大学教授）

コーディネーター：武隈 晃（鹿児島大学副学長，日本体育・スポーツ経営学会理事）

16：50～17：00 閉会挨拶